

(案)

令和元年度在宅医療コーディネーター養成研修会プログラム

I. 目的

1. 在宅医療への移行およびマネジメントができる以下に掲げる人材育成を目的とする
 - 1) 病院・診療所から在宅に移行する患者・家族の意思決定を支援し、表明した意向を実現するために、医療と介護のサービス調整をする人材
 - 2) 中核病院の退院支援部門と中小病院・診療所との連携を仲介する人材
 - 3) 中核病院以外の医療機関同士の病病・病診・診診連携を円滑化する人材

II. 研修目標

1. 在宅医療コーディネーターの役割と業務内容を理解する
 - 1) 患者・家族の意思決定支援の基礎的知識とスキルを修得する
 - 2) 患者・家族の意向を具現化するための在宅サービスと関係者の合意形成の基礎を理解する
 - 3) 他機関の機能を理解し、自施設における機関連携の方法を検討する
2. 研修会の場を通して参加者同士が顔の見える関係性を構築する機会とする
 - 1) 他機関に所属する多職種と交流し関係を構築する
 - 2) 在宅医療コーディネーター養成研修会修了生と交流することによって、コーディネーターの役割を学びネットワークを形成する

III. 研修形態

1. 講演会形式の講義 1回（第6回は公開講座）
2. 情報提供（5回）とグループワーク形式（4回）
3. 県外研修1日（参加は任意）
4. 現場実習1回（参加は任意）
5. スキルアップ研修2回（参加は任意）

IV. 研修受講申込条件

1. 職種等
薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士のいずれかの資格を必ず保有しており、病院・診療所と在宅をつなぐ役割を求められる者
2. 推薦
 - ①高松市医師会・木田地区医師会・綾歌地区医師会のいずれかに所属する会員
 - ②高松市在宅医療介護連携推進会議委員
上記①または②より推薦を受けた者
3. 出席
下記VIの研修日程：座学6回の全日程の受講が可能

V. 募集人数 40名（ほか県内行政職員等8名）

- VI. 研修会日程（時間：第1回～第5回15時～17時30分 第6回13時～16時）
- | | | | |
|-----|---------------|-----|----------------|
| 第1回 | 令和元年9月17日（火） | 第4回 | 令和元年12月17日（火） |
| 第2回 | 令和元年10月29日（火） | 第5回 | 令和2年1月7日（火） |
| 第3回 | 令和元年11月5日（火） | 第6回 | 令和2年1月13日（祝・月） |

VII. 研修場所

- 第1回～第5回は高松市医師会館
- 第6回 高松国際ホテル

(案)

2) 県外研修(参加は任意)

内容：四国四県の在宅医療の現状と課題について話し合う「四国在宅医療推進フォーラム」へ参加し、四市の状況も踏まえ、自分の地域における在宅医療の現状を把握する。

日時：令和元年9月29日(日)

場所：松山市総合コミュニティセンター「キャメリアホール」

3) 現場実習(参加は任意)

内容：在宅医療を行う医療機関において実践の場への同行訪問

日時：未定 協力医療機関と受講者と調整の上で決定

4) スキルアップ研修(参加は任意)

①アドバンスケアプランニングと意思決定支援について

内 容：担講義およびグループワーク形式により学習する。

講 師：大橋英司先生(本研修事業担当委員：大橋内科胃腸科 院長)

片山陽子先生(本研修事業担当委員：香川県立保健医療大学 教授)

日 時：令和元年11月27日(水)19時00分～21時00分(予定)

場 所：高松市医師会館 5階ホールおよび2階大会議室

対象者：今年度の受講生、在宅医療コーディネーター養成研修会修了生 等

②「もしバナゲーム」を体験してみよう

内 容：来たるべき人生の最期に備えて、どうありたいかを話し合うきっかけを作ることを目的として開発されたゲーム「もしバナゲーム」を体験し、今後のACPにおける対応スキルを向上させる。

日 時：令和元年12月11日(水)19時00分～21時00分(予定)

場 所：高松市医師会館 2階大会議室

対象者：今年度の受講生、在宅医療コーディネーター養成研修会修了生